



Ane Mone Letter



【創刊号】

2018年7月4日

サービス連合 ^{あした} 明日づくりプロジェクト

キャラクターは「アネちゃん・モネくん」

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 9-6 坂町 Mビル 2F TEL:03-5919-3261

発行：サービス連合 明日づくりプロジェクト推進委員会

サービス連合の社会貢献活動の一環として、「Ane Mone Letter」を創刊しました！「明日づくりプロジェクト」について、身近な取り組みを紹介していきます。

明日づくりプロジェクトとは？

サービス連合の「基本理念と運動の基本目標」にのっとり、社会・市民と幅広く連帯し、公正な福祉社会や環境にやさしい社会の実現と平和産業に働く立場から世界の恒久平和の実現をめざし、可能なかぎり積極的に国際連帯活動や社会貢献活動に取り組むことを目的としています。

アネちゃん・モネくん

「明日づくりプロジェクト」の愛称と同時に、『明日への希望』を花言葉にもつアネモネをモチーフに、「アネちゃん・モネくん」というキャラクターを名付け、作成しています。

かばんを持っているのがアネちゃん。かばんには、“サービス・ツーリズム産業のイメージと私たちと誰かをつなぐ役割を担って出かけていく”という意味が込められています。

森の町内会について



「森の町内会」は、企業や団体が環境貢献として「間伐に寄与する紙」を購入・使用し、間伐費用の不足分を補完する仕組みです。間伐サポーター企業・団体が1kg当たり15円の間伐促進費を付加した「間伐に寄与する紙」を購入して印刷用紙に使うと、間伐促進費の全額が間伐と間伐材の有効利用に充てられます。サービス連合では、議案書をはじめ様々な冊子・情宣紙等で森の町内会をつうじて購入した紙を使用しており（この新聞も「間伐に寄与する紙」を使用しています）、2017年度は1,645kgの用紙重量、24,673円の間伐促進費となりました。この結果、岩手の森の0.11haの間伐促進に貢献しました。

※0.11ha=1,100㎡ バレーコート（162㎡）約6.8面分 バasketボールコート（420㎡）約2.6面分
既に多くの加盟組合でも利用いただいておりますが、簡単に利用できますので利用の輪を拡げていきましょう！

【森の町内会の利用方法】

以下の2通りの方法があります。利用が決まりましたら、サービス連合本部へもご連絡いただくと助かります。

- ①印刷会社に「森の町内会の紙を利用したい」旨お伝えいただく。
- ②『ASKUL』で森の町内会のコピー用紙を購入する。

詳しくはホームページを参照ください。

森の町内会 ☎ 検索！ <http://www.mori-cho.org/index.html>

「森の町内会」間伐支援マップ



“間伐”って、なに！？

間伐とは、混み過ぎた森林の立木を一部抜き採りし、健全な状態に保つことです。日本の森林は、国産木材の利用低迷と林業の不振の中で間伐が行き届かず、地面まで太陽光が入らないため、健全な状態でない森林が極めて多い状況です。

食品ロス



食品ロス削減に向けた法律案をご存知ですか？ 議員立法にて国会に提出、審議される予定です。

法律案では、私たち消費者の意識向上についても言及されています。各家庭では具体的にどのようなことをすれば良いのでしょうか？

○食品ロスの原因

「食材の買いすぎ」「料理の作りすぎ」「贈答品が部屋に積んである」など

日常生活のちょっとした意識、配慮で、食品ロスは削減できます。取り組みを始めませんか？

加盟組合の取り組み紹介

阪急阪神交通社グループ労連（HEGU）の社会貢献活動「KHDビル周辺清掃活動&昼食会」に参加しました。事例紹介としてレポートします。

4月21日（土）10時20分～約1時間、KHDビルがある港区界隈を清掃しました。「KHDビル」は阪急交通社や阪急阪神エクスプレスの東日本における主な事業所の一つであり、多くの組合員が働いています。

当日は阪急交通社労組、阪急阪神エクスプレス労組、阪急阪神ロジパートナーズ労組、阪急トラベルサポート労組の4組織合計40名が参加し、そのうち阪急阪神ホテルズからも3名がゲスト参加されていました。参加者は4グループに分かれ、それぞれ日頃の通勤区間となっているJR新橋駅、東京メトロ虎の門駅、都営地下鉄内幸町と御成門駅からKHDビルまでのルートを中心に、ゴミを収集しました。ゴミは45リットル×14袋分の量となり、日頃はなにも気が付かずに通勤している街の中にもたくさんのゴミが捨てられている現状がわかりました。

実際に活動してわかったのが「タバコの吸い殻が多い！」「大通りや道路はキレイでも、お店やマンションの敷地内にゴミ箱や吸い殻入れが無造作に置かれていて景観を害している」「休日にビジネス街で集団がたむろしているので、通行人や住民から“何しているのですか？”と話しかけられる」…などです。当日は気温が高かったこともあり、腰を曲げてゴミを探していると、日光をたっぷり浴びることになり1時間でぐったりでした。

私は4歳の息子と参加させていただきましたが、活動の翌日息子と自宅の近所を歩いていて、「あ！タバコが落ちてるよ！」と言ってくれました。（が、ゴミ箱も近くになく、悲しいかな対応しあげることができませんでした…）また、個人的にも街のゴミに自然と視線が行くようになりました。



一時的限定的に清掃活動を行ったとして、どんな効果が…というご意見もあるかもしれませんが、住民とのやり取りや個人としての変化等をつうじて、少なからず個々人の意識の変化につながれば、今日より明日はちょっと街がキレイになるのかな？と感じました。サービス連合でも、お台場の清掃を行う東日本地連「東京ベイ・クリーンアップ作戦」をはじめ、各地連で社会貢献活動を展開しています。皆さんも、「まずはできることから」ということで、参加して一緒に活動しませんか！？（レポート：プロジェクト委員 橋本）